

「森のまほうの洋服」の舞台となる森林について

おはなしの舞台は、夏緑樹林です。日本では鹿児島県から北海道、世界では北アメリカ東部、ヨーロッパ中央部、東アジア中北部の冷温帯に広く分布し、ブナ属、ナラ属、シデ属、カエデ属などの種で構成されています。

アメリカブナ：夏緑樹（落葉広葉樹）のひとつで、高さ20～30mになります。カナダ東部からアメリカフロリダ州・テキサス州の東海岸に分布しています。ブナ属の植物は夏緑樹林の代表種です。



アメリカブナの葉

ブナ林の特徴：秋に紅葉し、冬に落葉する夏緑樹林の一つです。林内は明るく、カタクリやアネモネの仲間が生育します。

登場する樹木、動物、植物などから、このおはなしの舞台は、**アメリカ東部のアメリカブナ林**と想定しました。

KOBELCO森の童話大賞HPの「おはなしを書く前に」で、森林についての詳しい情報を発信しています。ぜひご覧ください。(2016年7月中旬公開予定)
HP www.kobelco-mori-ohanashi.jp

「森のまほうの洋服」



KOBELCO 森の童話大賞について

KOBELCO森の童話大賞は、神戸製鋼グループが主催する、小学生・中学生・高校生を対象とした、「森」をテーマにした創作童話のコンテストです。

たくさんの生きもののいのちを育み、私たちの暮らしに豊かな恵みを与えてくれる森はとても大切な存在です。そんな森に思いを寄せて、自由な発想でつくっていただいたおはなしを募集しています。

金賞作品のおはなしは絵本化し、後援していただいた県・市・町の学校・図書館等にお贈りします。

自分がつくったおはなしが絵本になる。そんな場面をイメージしながら、みなさんも、おはなしづくりにチャレンジしてください。

「森のまほうの洋服」の世界

すべて、アメリカ北東部に生息する動植物

エボシガラ

体長約17cmで、頭の上の冠羽が特徴です。

ヨツボシトンボ

黄褐色で、がっしりした体型のトンボで、日本にも広く住んでいます。

ナインスポッテッド テントウムシ

害虫のアブラムシを食べてくれるテントウムシです。

アメリカクロクマ

体長1.2~2m、体重150~200kgにもなる、とても大きなクマです。

シマスカンク

夜行性で、敵に襲われるとお尻から強い臭いのする液体を吹き出します。

主人公「アーラとマーラ」

アライグマ (アライグマ科アライグマ属)

もともとは、アメリカ合衆国、カナダ南部、中央アメリカに生息していて、現在では日本にも野生化して生息しています。

日本では「**外来種**」になります。

アメリカアカリス

木の上に住んでいて、ジャンプが得意です。

ノウサギ

草や木の皮を食べ、逃げ足が速く、日本にも住んでいます。

コハコベ

白色の花弁を5枚つけます。各花弁はそれぞれ2つに分かれ10枚にみえます。

オジロジカ

体長1.5~2.1mで、走るのがとても速く、最高時速80kmにもなります。

アメリカ(アカ)オオカミ

耳が大きくて長く、足が長いことが特徴で、何でも食べる雑食性です。

キバナカタクリ

外に反った6枚の黄色の花びらが特徴です。

イラストのこの子達、どのページにいるか、探してみてね。